Replacement ヘルメットの買い替え

注意） HJCヘルメットは長期間の使用に耐えうるよう高品質な素材を使用しておりますが、経年変化により買い替えが必要になります。次の場合には直ちに新しいヘルメットに買い替えてください。

- 衝撃が加えられた場合：ヘルメットは一度の衝撃にのみ耐えるよう設計されています。衝撃により、シェルが損傷したり衝撃吸収材が圧縮するることがあります。こうした損傷は、外観からは確認できないことがあります。ちょっとした衝突あるいは高さ1mからの落下でさえ、ヘルメットを損傷するに十分な衝撃を加えることがあります。
- シェル、ライニングあるいは顎紐が損傷した場合：ヘルメットシェル、衝撃吸収材及び顎紐は最大限の保護性能のために適正な状態を保つ必要があります。

たとえヘルメットが損傷していない場合でも、使用の頻度に応じて3年から5年でヘルメットを交換する必要があります。紫外線または接着強度及び構成パーツの時間経過によりヘルメットの強度は劣化していきます。強度の劣化したヘルメットの着用は、事故の際に重傷または死亡のリスクを高める恐れがあります。

How to use ヘルメットの正しい使用方法

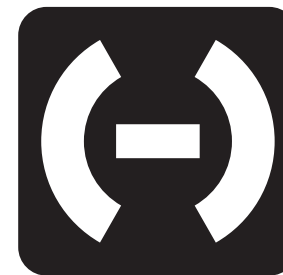
注意） 重傷または死亡のリスクを抑え、またヘルメットの損傷を避けるために次のことを守ってください。

- 運転中はヘルメットの調節は絶対にしないでください。調整は必ず停車中に行ってください。
- ヘルメットは絶対に落とさないでください。ヘルメットの落下はシェルに亀裂を生じさせたり、衝撃吸収材が損傷する可能性があります。こうした損傷は目視では確認できないことがあります。ヘルメットは一度の衝撃にのみ耐えるよう設計されています。ヘルメットを落とした場合の処置については「ヘルメットの買い替え」の項を参照してください。
- ヘルメットは、ミラー、ハンドル、シートバックを含め何にも引っ掛けないでください。ヘルメットの衝撃吸収材やライニングを損傷する原因になります。
- 防虫剤をヘルメットに直接あるいは近くで使用しないでください。防虫剤はヘルメットのバイザー、シェル、衝撃吸収材あるいは他の構成パーツを劣化させることがあります。
- ヘルメットはガソリンあるいはガソリン臭気に曝さないでください。ガソリン臭気はヘルメットのバイザー、シェル、衝撃吸収材あるいは他の構成パーツを劣化させることがあります。
- 常に目の保護具を着用してください。シールドの付いていない状態でご使用の際は、走行中に必ず目の保護具を着用してください。走行中は必ずシールドを閉じた位置でロックしてください。
- 常に周囲の音に注意してください。ヘルメットの着用により聴力が影響されます。
- ヘルメットは常にバッグに入れて保管し、使用時以外にヘルメットが損傷しないようにしてください。

Disposal ヘルメットの処分

注意） 新しいヘルメットを購入された際には、古いヘルメットを誤って再使用することのないように処分してください。たとえ損傷していない場合でも、古いヘルメットの譲渡あるいは売却はしないでください。時間の経過とともに、ヘルメットの衝撃吸収材は着用者の頭の形状の癖がついているため、他の者が着用した場合に、同レベルの保護性能が確保できません。

この取扱説明書は大切に保管してください。

HJC MOTORSPORTS 正規輸入販売代理店 **株式会社タニダ** 名古屋市昭和区鶴舞 2-3-17 TEL（052）871-3741
WEB : http://www.tanida-web.co.jp Email : info@tanida-web.co.jp

HJC MOTORSPORTS

― 取扱説明書 ―

Proper Fit 正しい装着方法

注意） 絶対に中古ヘルメットを購入したり他人のヘルメットを借用したりしないでください。経年変化により、ヘルメットの衝撃吸収材は着用者の頭の形状の癖がついているため、中古あるいは他人のヘルメットは、新品と同レベルの保護性能が確保できません。

注意） サイズの合わないヘルメットの着用は、事故の際に重傷または死亡のリスクを高める恐れがあります。使用者の頭に対して大きすぎるヘルメットは、事故の際に外れたり、飛ばされる可能性があります。必ず頭の大きさに合っているか確認してください。

- 両方の顎紐を引っ張りながら、頭に装着してください。装着の際は、スナップに頼らないでください。スナップは顎紐が風ではためくのを抑える目的で取り付けられています。
- 顎紐は顎の下で、痛みを感じない程度にできる限りきつく締めます。紐にゆるみがあってはならず、顎に対してぴったりと締まっている必要があります。顎紐がきつく締まっていない場合、事故の際に外れたり、飛ばされる可能性があります。

Care ヘルメットのケア

注意） ヘルメットのクリーニングは、本書で指示されているお手入れ方法に従ってください。それ以外の方法や化学洗浄剤を使用しますと、ヘルメットのシェルやライニングを損傷することがあります。損傷を受けたまま使用しますと、事故の際、重傷や死亡のリスクを高める可能性があります。

光沢フィニッシュ ）

ヘルメットの外装クリーニングには、乗用車のクリーニング及びポリッシュ製品を使用してください。すべてのHJCヘルメットは、乗用車用のベースコート及びクリアコートで仕上げられています。ほとんどの引っ掻き傷や擦り傷はコンパウンドで除去することができます。（Si12ラバートーンブラックを除く）コンパウンドを使用する際は、その製品の使用上の注意に従ってください。コンパウンドでの過度な摩擦はヘルメットの光沢を損なうことになります。ステッカーやデカールを剥がすと粘着成分がヘルメット表面に残ることがあります。残った粘着成分はアルコールを含ませた布で除去できます。必ず、余分なアルコール液は直ちに拭き取り、粘着成分を除去した後は石鹸と水で洗い流すようにしてください。また、除去する際は、擦り取るように過度の圧力をかけるのではなく、軽く何度も拭き取ってください。

内張りのクリーニング ）

汗、湿気、埃などが蓄積しますと、繊維や縫い目を傷めるだけでなく悪臭の原因にもなりますので、3年から5年に一度ヘルメットを買い替えることをお勧めします。着脱可能パッドは、通常の洗濯機で洗った後自然乾燥させてください。取り外しのできないモデルは、ヘルメット内装用の、雑菌カビ除去製品の使用をお勧めします。

ベンチレーションのクリーニング ）

埃や細かいゴミが、ヘルメットのベンチレーションの穴に溜まることがあります。圧縮空気スプレー（ダスター）を使って、ベンチレーションの空気孔からゴミを吹き飛ばしてください。この方法でクリーニングする際には事前に着脱可能パッドを外してから行うことをお勧めします。

注意） 純正交換パーツ以外の使用は、事故の際に重傷または死亡のリスクを高める恐れがあります。必ず、専用設計のHJC純正パーツを使用してください。

ヘルメットは改造しないでください ）

HJCヘルメットはSNELL規格*に適合するように設計されています。ヘルメットの改造は事故の際、重傷または死亡のリスクを高める恐れがあるので、絶対にヘルメットは改造しないでください。改造には次のことが含まれています。

- 穴を開けること
- シェル、ライニングあるいは顎紐を切ること
- チンカップの追加を含め顎紐を改造すること
- パーツを除去すること
- 塗装すること
- 純正パーツ以外を取り付けること

＊SNELL記念財団はヘルメットの安全規格に関わる研究、教育、テスト及び開発を目的として設立された非営利組織です。1957年の設立以来、SNELL財団は米国及び世界においてヘルメットの安全規格における指導的役割を果たしています。

ヘルメットは正しく保管してください ）

注意） ヘルメットを正しく保管しないと損傷する恐れがあり、事故の際に重傷または死亡のリスクを高める恐れがあります。

- ヘルメットは涼しく乾燥した場所に保管する
- ヘルメットはペットや他の動物から離して保管する
- ヘルメットは50℃を超える熱を避けて保管し、また熱を持つ場所の上や近くに置かない

Inspect ヘルメットの点検

注意） 重傷または死亡のリスクを抑えるため、常にヘルメットは適正に使用してください。

- フルフェースヘルメットのシールド、シールドラチェットの点検：必要であればシールドラチェットのねじを再度締めてください。くれぐれもねじの締め過ぎに注意してください。締め過ぎますと、プラスチック製のプレートねじの場合は破損し、アルミ製ねじの場合はスリーブを損傷する恐れがあります。
- ヘルメットの損傷の点検：ヘルメットが損傷あるいは亀裂がある場合は、直ちに使用を中止してください。詳しくは「ヘルメットの買い替え」項を参照してください。ヘルメットを落とした場合には、実際の損傷は目視では確認できないことがあります。
- 摩耗あるいは損傷したパーツの点検：プラスチック部品は時間の経過に応じて摩耗していきます。摩耗あるいは損傷したパーツが確認された場合は、交換するか新しいヘルメットに買い替えてください。

Shield Care シールドのケアとクリーニング

クリーニング ）

シールドのお手入れはいかなるスプレー式の化学薬品クリーナーの使用もお勧めしません。こうした化学薬品とシールド素材間では化学反応の可能性があり、もやがかかったり視界が歪む恐れがあります。HJCでは、シールドのクリーニングにぬるま湯と柔らかな布を使用することを推奨しています。また、埃や汚れが付着した際には直ちにクリーニングすることをお勧めします。シールドに汚れが付着したまま長期間放置しないでください。汚れ等が一定の期間付着した場合は、洗浄を何回か繰り返してください。洗浄する毎に付着物が分解され除去しやすくなります。拭き取る際、過度に擦ることは硬化した付着物が摩擦物となり、傷をつけるためお止めください。品質が低く目の荒いペーパータオルの使用も同様です。

曇り止め用貼り付けフィルム ）

市販の曇り止め用フィルムは、2D形状のシールドでなければ効果が発揮できないため使用しないでください。3D形状のシールドに貼り付けた場合、2重屈曲形状が影響して視界を歪めることがあります。そのため、3Dシールドへの使用はお勧めできません。

撥水処理製品 ）

撥水効果のある製品は、新しいシールドに対して、当該製品の使用上の指示を守って使用する場合に、HJCシールド（RSTミラーシールドを除く）上においても効果を発揮します。塗布については、特別柔らかく清潔な布を使用してください。

HJC曇り止めシールド ）

曇り止めシールドは、内側及びハードコート仕上げの外側の両面に曇り止めコーティングが施されています。曇り止めシールド（HJ-09）を始めて使用する際には、内側の面に息を直接吹きかけることにより、その曇り止め効果が活性されます。シールドは部分的に曇りますが、一度曇りが消えると曇り止め効果が活性状態になります。この曇り止め効果は薬品処理によるものであり、経年変化により劣化します。

RSTミラーシールド ）

ミラーの表面仕上げを損なう恐れがあるため、いかなる化学製品の使用も認めておりません。クリーニングに際しては、ぬるま湯と柔らかい布を使用してください。また、埃や汚れが付着した際には直ちにクリーニングすることをお勧めします。シールドに汚れが付着したまま長期間放置しないでください。汚れ等が一定の期間付着した場合は、洗浄を何回か繰り返してください。洗浄する毎に付着物が分解され除去しやすくなります。拭き取る際、過度に擦ることは硬化した付着物が摩擦物となり、傷をつけるためお止めください。

ティアオフシールド ）

HJCでは、Paulson TA-1 、Racing Optics 7201 あるいは Rose Racing 1018's などの製品を推奨します。3枚以上のティアオフの使用は視界の歪みを引き起こします。